

~Every failure is a step to success.~

~全ての失敗は成功へのステップである~

- William Whewell -

「楽しい」から広がる自分の世界

Quiz コーナー

台湾研修の事前学習では、生徒の興味関心を引き出すため、台湾を訪れたことのある留学生リーダーから台湾でのカルチャーショック体験を紹介してもらうことがあります。多くのリーダーが No.1 にあげているものは何でしょう？

- ① スケートの数
- ② トイレ
- ③ 臭豆腐
- ④ 気候
- ⑤ 甘いお茶

(※答えは裏面に記載)



日本で学ぶ多国籍の留学生(GEPメンバー)と協働型の学習機会を創り出すLbE Japanでは、修学旅行や海外研修など、生徒の旅先での体験をより楽しくし、より多くの気づきを引き出すことを目的に、事前事後学習のプログラムを提供しています。

「現地のイメージが湧かず、興味が持てない」「旅先での英語のコミュニケーションに不安がある」そんな悩みや課題に対し、事前学習を通じて、「楽しみ」「ワクワクする」と生徒の気持ちが変わることを大切に考えプログラムをデザインしています。

今回は留学生リーダーとのフィールドワークを取り入れた関西での修学旅行に向け実施した、事前学習プログラムの事例をご紹介します。

リアルなコミュニケーションから生まれる気づきと自信

留学生リーダーとフィールドワークを行う目的は、世界を舞台に活動する彼らの価値観や考え方に触れ、「グローバル人材」の定義や必要なスキルが何かを体験的に学び、自身の将来について考えることでした。関西での協働体験中、どのような観点で京都・大阪を紹介すれば留学生リーダーが興味を持って聞いてくれるのか？そして、日本を「異国」とする留学生リーダーならではの価値観や考えを引き出せるのか？

事前学習では、学校を訪れた東京で学ぶ留学生リーダーを相手に、その実践練習を行いました。生徒は京都・大阪で体験したいこと・場所を、自身の興味・関心に基づいた理由と共に紹介してみました。その発表を受けて、留学生リーダーたちからは、共感を得たことや、異なる価値観について生徒に熱心に伝えている場面が多く見受けられました。生徒は留学生リーダーからたくさんの質問を投げかけられ、ここをもっと調べておくといいね、といったアドバイスも受けながら、会話はお互い途切れる様子がありません。

留学生リーダーとのリアルなコミュニケーションとフィードバックが、旅



先での活動イメージに臨場感を持たせ、生徒のもっと伝えられるようになりたいというやる気を引き出します。

またインターネットやガイドブックで調べて準備した説明も、留学生リーダーを前にすると、一方的に伝えるだけでは伝わらないもどかしさや、調べたつもりでも実は正確に理解できていないことなど、生徒は身を持って感じます。

留学生リーダーにお好み焼きについて紹介する場面では、お好み焼きという言葉を使わずに説明を求められ、調理法や味がどんなもので、食材は宗教上食べられないものだったりしないか？など日本人同士のコミュニケーションでは見落としがちな視点にハッとさせられることも。

異なる留学生リーダーへ繰り返し発表したことも、生徒にとって小さな成功体験の積み重ねとなりました。回を追うごとに、生徒の表情に自信が見られ、内容も他者に寄り添った表現へと変化していきました。

異なる留学生リーダーへ繰り返し発表したことも、生徒にとって小さな成功体験の積み重ねとなりました。回を追うごとに、生徒の表情に自信が見られ、内容も他者に寄り添った表現へと変化していきました。

Quiz! 答え

③臭豆腐です！



未知のことを知る楽しさ、特に五感は体験しないとわからないだけに、生徒たちの旅先への興味関心が一気に跳ね上がります。プログラムのラストで、旅行前にどんなことを調べてみたかったか書き出してもらい、先生方とも共有して、以降の事前準備に役立てていただいています。

好奇心が導く新たな発見と無限の意欲

事前学習を体験した生徒からは、以下のような声がありました。

- 日本人だと説明しなくてもわかることも、伝えないとわからないのだと気付いた。
- 留学生リーダーの話を聞いて、行く前に現地のことをもっと調べてみたくなった。
- 知らないことを知って、面白い！
- ただ伝えるのではなく、相手のことを理解して伝えることが大事だとわかった。

修学旅行先で出会う関西の留学生リーダーたちは、生徒にとってもちろん初対面です。しかし、生徒たちは、どのグループも対面早々笑顔で、自ら留学生リーダーに自己紹介を始めていました。事前学習プログラムの後半の様子のまま、表情豊かに留学生リーダーに話しかける生徒の様子がとても印象的でした。

このように、無限の可能性を秘めた生徒たちがワクワクしながら学び続け、新たな気づきを重ね続ける先に、成長と可能性が広がるプログラムをこれからもお届けしてまいります。

この度はNewsletter 第14号を手にとっていただき、誠にありがとうございました。

次回はICTを活用しての京都・東京でのフィールドワークプログラム事例をご紹介します。

株式会社LbE Japan (エルビージャパン) <http://www.lbejapan.co.jp> info@lbejapan.co.jp

